ユネスコ群馬 No.82

Unesco Gunma

群馬県ユネスコ連絡協議会 ／ http://gunma-unesco.com　　会長　岸 正博 ／ 群馬県教育委員会生涯学習課

つなげよう平和の心　広げようユネスコの輪

燎原(りょうげん)の火のごとく

群馬県ユネスコ連絡協議会
会長　　岸　正博

本会は10年ごとに活動の一区切として足跡を振り返り、新たな一歩を歩んでいる。今年度は県ユ連創立55年を迎えている。そこで、県ユ連設立当初のユネスコ活動の普及・発展に尽力した先達の熱い思いを改めて共有しておきたい。

1966（昭和41）年、県ユネスコ運動推進協議会が県教委、桐生市教委、桐生ユ協の三者で結成され、次の4つの推進事項が決定されている。

① 県教委は各教育事務所、市町村教委、高等学校、中学校、社会教育団体へユネスコの趣旨の浸透を図るため、PR用のパンフレットを作成し、県下に配布する。

② 県教委は社教主事をとおして県下社会教育団体へユネスコの趣旨の浸透を図る。

③ 桐生ユ協が中心となり、旧5市町村に対し直接的に組織化を働きかける。

④ 高校ユネスコの理解浸透並びに組織化を図る。

1967（昭和42）年3月の県ユ連結成大会で、前原勝樹準備委員長（桐生ユ協会長）は「関東平野の不毛の地、群馬の一角に本日、私たちの手によって一粒のユネスコの種子がまかれたが、これが燎原の火のごとく群馬の隅々に拡大されることを願ってやまない」、田村遂県教育長は「意義ある県ユ連設立により、今後は県行政と民間団体とが共に手を携えていくことで、県ユネスコの一大飛躍はもとより、県社会教育の一段の発展を祈念する」と述べている。

思いを新たに、県ユ連として歩みを進めたい。

会長退任のあいさつ

群馬県ユネスコ連絡協議会
前会長　　樋口　克己

私こと、2018年に県ユ連の第13代会長に就任しました。その後、4年間、微力ながら県ユ連の活性化のために尽力できたことを幸いに思っています。

2016～17年の県ユ連創立50周年記念事業では実行委員長を務めさせていただき、皆様のご協力のもと、県ユ連創立50周年記念式典も成功裏に終えることができました。

2020年には「関東ブロックユネスコ活動研究会 in 群馬」はコロナ禍のため中止となってしまいましたが、準備に取り組んだ過程で貴重な体験が出来たと思います。

ところで、ロシアによるウクライナ侵攻は平和の実現を希求するユネスコとしては到底看過できません。ユネスコ活動に携わる者としては異を唱えたいところですので、過日の県ユ連理事会で賛同を得たので、県ユ連ホームページに抗議文を載せました。

末筆ながら、会長在任中、及びそれ以前の50周年記念事業や関ブロ群馬大会準備では大変お世話になりましたことにつきまして心より御礼申し上げます。

併せて、県ユ連の今後のますますの発展を祈念申し上げます。

2022年度　活動方針

1 - 活動テーマ

広げよう 平和の心
- 持続可能な社会の実現を目指す民間ユネスコ活動 -

2 - 趣旨

ユネスコ憲章前文には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。・・よって平和は、失われないためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない」とある。21世紀は激動する国際社会であり、真の世界平和が実現するとはいえない状況にある中、改めてユネスコの理念の崇高さと使命の大切さを痛感する。

日本ユネスコ国内委員会は、ユネスコ創設70周年の提言として、新しい時代の国際社会における知的リーダーとしての役割、持続可能な社会の実現への貢献、多様性を尊重する社会の実現への貢献を提言している。
そこで、2022年度の県ユ連活動方針として、次の3点をあげる。

(1) 教育、科学、文化、情報・コミュニケーションを通じた平和な世界への貢献
ユネスコ精神を普及し、平和の活動の輪を広める。

(2) ESD/SDGs の推進
SDGs 全ての目標達成に貢献する持続可能な開発のための教育（ESD）を推進する。

(3) 文化多様性の保護・促進
文化遺産・自然遺産・未来遺産等にかかわる情報発信や保護・保全の活動を推進する。

グローバリズムが存在価値を問われ、国際社会、地域社会の連帯の危機の中、私たちは地域で何をなすべきか、何が期待されているのか、これからの民間ユネスコ活動の役割は何かを課題意識とし、活動を進めていくこととする。

事業計画

	事　業　名	期　日	会　場	備　考
県ユ連主催事業	定期総会	5月22日(日)	桐生市市民文化会館	< 桐生ユ協主管 > 事業・決算報告、事業計画(案)予算(案)等審議
	運営研修兼事務局員研修会	11月5日(土)	土屋文明記念文学館	< 高崎ユネスコ協会主管 >
	研修視察	中止		
	海外青年交歓研修会	9月17日(土)	太田市社会教育総合センター	< 太田ユネスコ協会主管 >
	広報誌「ユネスコ群馬」第 82・83号刊行	発行　7月・1月		< 県ユ連編集委員会担当 > 年2回発行(会員全員及び関係者に配布)
専門	ユネスコスクール研修会	未定	藤岡市総合学習センター	< ユネスコスクール委員会担当 >
	世界遺産研修会	10月1日(土)	伊勢崎市境島村公民館	< 伊勢崎ユネスコ協会主管 >
補助事業	国際理解バス	8月中に県内のユ協が実施予定	訪問先は東京又は筑波JICAや都内大使館	＊国際理解・国際交流を図るため、各ユ協が児童・生徒対象に実施
	文化活動補助 ―絵画等作品展の補助―	県内4ユ協がユ協毎に実施	各ユ協が会場を設定	＊児童・生徒の絵画等の作品の展示会を単位ユ協が行う。
会議	理事会	年間6回(隔月開催)	藤岡公民館	コロナ感染状況により会場の変更あり
	役員会議	適宜開催	藤岡市総合学習センター	＊本部役員と事務局員参加
日ユ協連等	日ユ協連定時総会	6月25日(土)	東京・大手町	
	日本ユネスコ運動全国大会	11月26日(土)	千葉県木更津市	会場：かずさアカデミア・パーク
	関ブロ大会	同	同	同
	平和の鐘を鳴らそう！	7月~8月	全国各地キャンペーン	民間ユネスコ運動の日(7月14日)
	日ユ協連評議員会に出席	年間2回開催	東京・大手町	本県の評議員が出席予定
その他	世界寺子屋運動実践 (日ユ協連と連携協力)	通年		県内各ユ協が「書きそんじハガキ等回収キャンペーン」を推進
	東日本大震災子ども支援募金 (日ユ協連と連携協力)	通年		県内各ユ協が募金を継続、震災被災者への就学支援
	沼田ユ協	10月15日(土)	ホテルベラヴィータ	創立50周年記念事業

2022年度　群馬県ユネスコ連絡協議会　予算

1 収入

項　　目	2021年度　予算（円）	2022年度　予算（円）	摘　　要
繰　越　金	56,111	54,213	前年度繰越金
会　　費	490,000	490,000	会費　490,000 円(40,000 円×12ユ協 +10,000 円国際ソロプチミスト前橋)
事業収入	390,000	390,000	事業費　240,000 円(20,000 円×12ユ協) 名刺交換代　150,000 円(2,000 円×75人)
補　助　金	70,000	70,000	群馬県教育委員会補助金
雑　収　入	20	20	普通預金利子
合　　計	1,006,131	1,004,233	

2 支出

項　　目		2021年度　予算（円）	2022年度　予算（円）	摘　　要
会　議　費		30,000	30,000	理事会等会議費
旅　　費		60,000	60,000	各種旅費
通　信　費		30,000	30,000	切手等通信費
印　刷　費		260,000	260,000	＜内訳＞各種印刷経費　10,000 円 広報「ユネスコ群馬」年2回発行　250,000 円
消耗品費		35,000	35,000	事務用品等消耗品費
事　業　費		436,000	446,000	
事業費内訳	単ユ協助成	156,000	156,000	13,000 円×12ユ協
	県ユ連総会	30,000	30,000	桐生ユネスコ協会
	運営研修	50,000	50,000	高崎ユネスコ協会
	海外青年交歓研修	0	50,000	太田ユネスコ協会
	研修視察	50,000	0	中止
	世界遺産委員会	30,000	30,000	伊勢崎ユネスコ協会
	ユネスコスクール委員会	50,000	50,000	藤岡地方ユネスコ協会
	国際理解バス	16,000	14,000	2,000 円×7ユ協（館林、大泉、藤岡地方、沼田、太田、富岡、高崎）
	HP維持管理費	30,000	30,000	
	文化活動補助費	24,000	36,000	6,000 円×6ユ協（伊勢崎、前橋、太田、高崎、安中、大泉）
構成員負担金		6,600	6,600	＜内訳＞県教育振興会会費　3,000 円 日ユ協連会費　3,600 円
積　立　金		100,000	100,000	＜内訳＞関ブロ積立金　50,000 円 創立60周年記念事業積立金　50,000 円
慶　弔　費		20,000	20,000	
予　備　費		28,531	16,633	
合　　計		1,006,131	1,004,233	

県ユ連定期総会を開催して

桐生ユネスコ協会会長　　田中　一枝

この度は、県ユ連定期総会を当地桐生市で開催していただき、樋口前会長をはじめとし県内各地から参加された役員の皆様に心から御礼申し上げます。

本来この度の総会は、桐生ユ協を元気づけましょうと昨年5月の開催予定が新型コロナにより中止の処、樋口前会長他皆様の心遣いから本年に延期されたものと存じます。お陰様で桐生ユ協の会員は1年間で20名から71名になりました。私事ながら、今回の開催の準備をするにあたり、新会員同志の連携しあったチームプレーには胸をうたれました。

総会で何よりも感動的でしたのは、新会長に就任された岸会長からの挨拶で、伝統ある桐生ユ協の歴史に触れ「桐生は群馬ユネスコの聖地」と言及されたことです。また、県ユ連初代の会長であった故前原勝樹会長の功績を讃えていただいたことは、桐生ユ協にとり何よりの名誉な喜びでした。私の隣に居りました長男である勝良副会長はどんな想いだったでしょうか？

総会終了後、お見送りする私共に皆様から「よかった」「盛会でしたね」「感動しましたよ」等、お誉めの言葉をいただき、今までの緊張がスッと楽になった感がいたしました。本当に有難うございました。

桐生市市民文化会館　国際会議室

「第7回群馬県ユネスコスクール研修会」報告

ユネスコスクール委員会委員長　　岸　正博

1 趣　旨：ESD/SDGs、ユネスコスクールの理解と実践の質的向上、並びに活動の推進を図る。
2 日　時：2022年1月27日(木)13:30～16:30
3 会　場：藤岡市総合学習センター会議室
（Zoomによるオンライン開催）
4 参加者：ユ協会員34名、小中高教員42名、教委関係者5名、一般2名、計83名。
5 講　演：演題「ESD/ユネスコスクールの新たな潮流～SDGsの達成に資するESD for 2030～」
講　師：及川　幸彦 氏
（東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター主幹研究員。日本ユネスコ協会連盟理事。地球環境学博士。）
6 ユネスコスクール 活動報告・現状と課題
▶「自然、人、社会とつながろう、かかわろう、そして広めよう～未来の笑顔のために。目指せ SDGs!～」
講　師：高崎市立六郷小学校校長　大山　知久 氏
▶「生徒発！北中 SDGs 宣言～未来に生きる力を育む新たな挑戦～」
講　師：藤岡市立北中学校校長　山田　雅彦 氏
※ 論点整理
○ 各校での教科横断的な視点による単元配列表の作成、ESD カリキュラムのストーリー化と構造化。
○ 県内ユネスコスクールのネットワーク化の推進。学校教育と社会教育の連携・協働。

オンラインで配信

「2021年度ユネスコ活動グッドプラクティス賞」受賞

～40年以上継続中「国際理解バス」～

前県ユ連事務局長　松本　千恵子

1987年第9回(富岡、高崎、安中ユ協ホスト)丸木美術館

選考理由

“群馬県内12の協会のうち過半数の8協会が参加。それぞれの協会の独立の事業でありながら共通の問題に取り組んでいる。様々な実施上の問題に直面しながら、コロナ禍の時期にあっても、リモートなどの手段を活用して活動を継続。県の連絡協議会が支援、活動活性化に努力している点も他協会のモデルとするに相応しい。”

日本ユネスコ協会連盟の主催する「2021年度ユネスコ活動グッドプラクティス賞」に、2022年3月25日、当連絡協議会の「40年以上継続中『国際理解バス』事業」が選出されました。

この賞は模範的な活動モデルを示し、ユ協の活性化に資するため一昨年度より始まりました。第1回は3協会が、2回目となる2021年度は5協会が受賞。県の連絡協議会としては初の受賞となりました。

実は、県ユ連が賞の対象だという認識はなく、申請にあたっては日ユ協連の勧めがありました。県ユ連という枠組みの中で複数のユ協が長年に渡って同じ名称の活動を行っているのは他県にない稀な事例です、と。

群馬県ユ連の「国際理解バス」は、1979年国際児童年を記念して県教委主催・県ユ連後援1泊2日の「国際理解視察研修会」として誕生。都内国際交流施設での外国人との交流を通じ県内児童生徒を視野の広い国際人に育てることを目的に始まりました。2回目から「国際理解バス」と改称し、県ユ連主催・県内ユ協もち回り主管の都内大使館訪問を開始。その後第10回から現在のような単位ユ協独自の事業として継続されてきました。今後も受賞を励みとし、他県連絡協議会にはない歴史ある事業が継続されることを期待します。

なお、同時受賞は、「文化財修復を三位一体で取り組み、地域に活性化をもたらす活動」(津山ユネスコ協会)、「旭川市のユネスコ創造都市ネットワーク推進における協働」(旭川ユネスコ協会)、「クラウドファンディング～新型コロナウイルスに負けない支援の継続～」(札幌ユネスコ協会)、「いわきユネスコ協会『出前事業』」(いわきユネスコ協会)。それぞれ、地域の活性化、他団体との協働、オンライン導入そして児童自ら活動する機会の提供など、いずれも単位ユ協の活動です。

各ユ協の皆様には、締切り時間の切迫した中、アンケートに快く回答いただき感謝いたします。

2022年度　本部新役員・事務局員

会　長	岸　　正博	藤岡地方
副会長	中村　利光	太　　田
同	設楽　孝吉	伊勢崎
同	串田　昭光	高　　崎
同	田中　一枝	桐　　生
監　事	矢野　　薫	安中碓氷
監　事	矢島　俊夫	前　　橋
事務局長	依田　治雄	藤岡地方
事務局次長	木村　順子	同
書記・会計	貫井真由美	同
同	小暮　英美	同

-あとがき-

本号より藤岡地方ユネスコ協会が担当となりました。会員相互の情報を共有し、そして会員皆様に読んでもらえる紙面つくりを心がけていきたいと思っています。

新型コロナの流行や、ウクライナの問題など大変な世の中ですが、この紙面がユネスコの精神を広げていく一助となれば幸いです。ご協力よろしくお願いいたします。

(編集委員長　依田　治雄)

群馬県ユネスコ連絡協議会　加盟団体(設立順)

- 桐生ユネスコ協会
- 太田ユネスコ協会
- 前橋ユネスコ協会
- 伊勢崎ユネスコ協会
- 高崎ユネスコ協会
- 富岡ユネスコ協会
- 沼田ユネスコ協会
- 館林ユネスコ協会
- 安中碓氷ユネスコ協会
- 藤岡地方ユネスコ協会
- 中之条ユネスコ協会
- 大泉ユネスコ協会
- 国際ソロプチミスト前橋

編集・発行

群馬県ユネスコ連絡協議会
発行責任者　　岸　正博
群馬県前橋市大手町1-1-1
群馬県教育委員会生涯学習課内
TEL：027-226-4668

編集・印刷

株式会社大塚カラー
群馬営業所
群馬県高崎市足門町1637-7
TEL：027-384-3307